

令和五年度前期選抜学力検査

国語

(十時～十時四十五分、四十五分間)

問題用紙

- 一、「開始」の合図あいずがあるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
- 三、問題は、**1**から**3**までで、**六**ページにわたって印刷してあります。
- なお、問題用紙のほかに**別紙**があります。
- 四、「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄らんに**受検番号**を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」しゅうりようの合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

注

意

1

次の(一)～(七)の各問いに答えなさい。(十八点)

(一) 次の①～⑥の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。

- ① 扉をそつと押す。
- ② 雨で草木が潤う。
- ③ 思わぬ朗報が届く。
- ④ 浜で貝殻をひろう。
- ⑤ えいえんに変わらぬ友情。
- ⑥ しやりんの跡をたどる。

(二) 次の①、②の故事成語の傍線部分の漢字として最も適当なものを、それぞれあとのア～エから一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ① 蛇そく (意味：あとからつけ加えられたよけいなもの。)

ア、側 イ、足 ウ、促 エ、息

- ② はい水の陣 (意味：一歩も退くことはできないという、せっぱつまった立場で物事にあたること。)

ア、拝 イ、敗 ウ、背 エ、廃

(三) 次の①、②の文の傍線部分は、() 中の指示にしたがうとどのようになるか。それぞれあとのア～エから最も適当なものを一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ① お客様が商品を見る。(尊敬語を用いた表現に換える。)

ア、見ている イ、見せていただく ウ、拝見する エ、ご覧になる

- ② 私が本を渡す。(謙譲語を用いた表現に換える。)

ア、お渡しする イ、お渡しになる ウ、渡される エ、渡している

(四) 次のア～エの文の傍線部分の語のうち、用法・はたらきが他の三つと異なるものはどれか。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、寒いからコートを着る。 イ、時間がないから急ごう。 ウ、九時から会議を行う。 エ、疲れたから休憩しよう。

(五) 次の①、②の文の傍線部分が慣用句となるように、□に入る最も適当な言葉を、それぞれあとのア～エから一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ① □ を冷やして考える。

ア、目 イ、肩 ウ、頭 エ、顔

- ② 彼の演技も □ についてきた。

ア、板 イ、石 ウ、根 エ、鉄

(六) 次の漢文の書き下し文として正しいものはどれか。あとのア、イから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

即すなはち 挙あゲテ 所ところノ 坐ガセシ 者ものヲ 送おくル 之これニ。
(「世説新語」による。)

ア、即ち坐せし者を挙げて所の之に送る。
イ、即ち坐せし所の者を挙げて之に送る。
ウ、即ち者を挙げて坐せし所の之に送る。
エ、即ち者を坐せし所の挙げて之に送る。

(七) 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

(注1) 忠文ただふみん民部卿ぶきやうたか鷹たかを好めり。重明しげあきら親王しんわうその鷹たかを乞こはんがために、宇治うぢの宅いへに向かふ。忠文あ鷹たかをもつて親王あに与あたふ。親王あ臂ひぢして還かへる。

路みちに鳥あに遇あへり。この鷹たかすこぶるもつて凡ほんなり。親王そこですなはち路みちより帰りて、鷹たかを忠文さに返かへし与あたふ。忠文さ更に他の鷹たかを取とり出いだして

云いはく、「この鷹たかを献けんじやう上じやうせしめんと欲おもふも、おそらくはその用もちを為なさじ」と。すなはち与あたふ。李部王りほうわう得えて還かへる。路みちに鳥あに遇あひて放はなつに、

鷹雲たかぐもに入りて去されり。この鷹たか五十丈ごじやうの内に鳥あを得えば、必かならず撃うつと云いふ。すこぶる主あるじの凡ほんなるを知しりて飛とび去さるか。

(『新 日本古典文学大系 江談抄』による。)

* 一部表記を改めたところがある。

(注1) 忠文民部卿

藤原忠文。民部省という役所の長官。

(注2) 重明親王

醍醐天皇の第四皇子。

(注3) 李部王

重明親王のこと。

(注4) 云々

まだ続く文を途中で切る場合に、あとがあることを示す語。

① 傍線部分A「遇へり」を現代仮名遣いに改め、すべてひらがなで書きなさい。

② 傍線部分B「欲ふ」、C「与ふ」について、これらの主語の組み合わせとして最も適当なものを、次のア、イから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、B — 忠文民部卿 C — 忠文民部卿 E、I、B — 忠文民部卿 C — 重明親王
ウ、B — 重明親王 C — 重明親王 E、I、B — 重明親王 C — 忠文民部卿

③ 本文の内容として適当でないものはどれか。次のア、イから一つ選び、その記号を書きなさい。
ア、重明親王は、一羽目の鷹を鷹好き忠文民部卿からゆずり受け、臂に乗せて帰った。
イ、一羽目の鷹は、鳥を捕らえることがなかったため、忠文民部卿のもとに返された。
エ、重明親王は、二羽目の鷹を手に入れて帰る途中で鳥を見つけたため、鷹を放った。
ウ、二羽目の鷹は、五十丈の範囲内にいた鳥を捕らえて、重明親王のもとに持って来た。

(次のページへ) ←

別紙の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(二十点)

(一) 傍線部分①「置か」は動詞であるが、その活用の種類はどれか。次のア～オから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、五段活用 イ、上一段活用 ウ、下一段活用 エ、カ行変格活用 オ、サ行変格活用

(二) 傍線部分②「体型」と熟語の構成が同じものはどれか。次のア～オから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、日没 イ、和食 ウ、前後 エ、洗顔 オ、停止

(三) 傍線部分③「偶然」の対義語はどれか。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、平然 イ、必然 ウ、自然 エ、未然

(四) 傍線部分④「収斂進化」とあるが、収斂進化とは何か。本文中から四十三字で抜き出し、最初と最後の五字を書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(五) 傍線部分⑤「イルカの表向きの姿は確かに魚みただが、解剖して体の内側を細かく見れば見るほど、明らかにイルカは私たちと同じ哺乳類の系統だと実感する」とあるが、これと同じ内容が述べられている部分を、本文中から六十字以上七十字以内で抜き出し、最初と最後の五字を書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(六) 文中の A に入る言葉として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

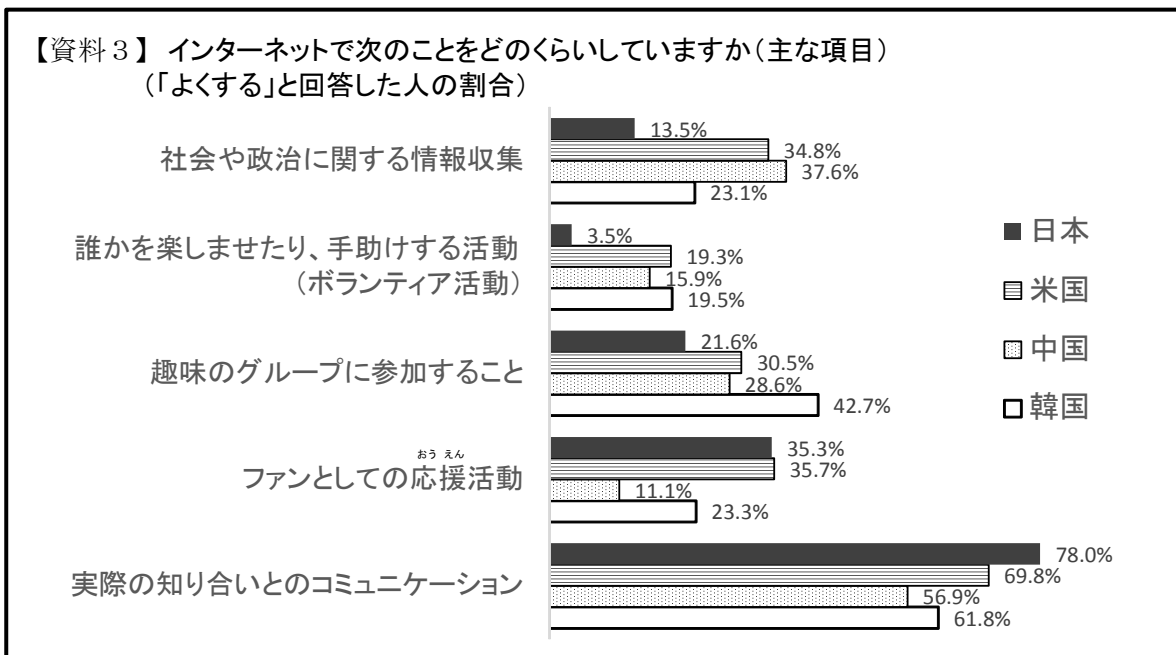
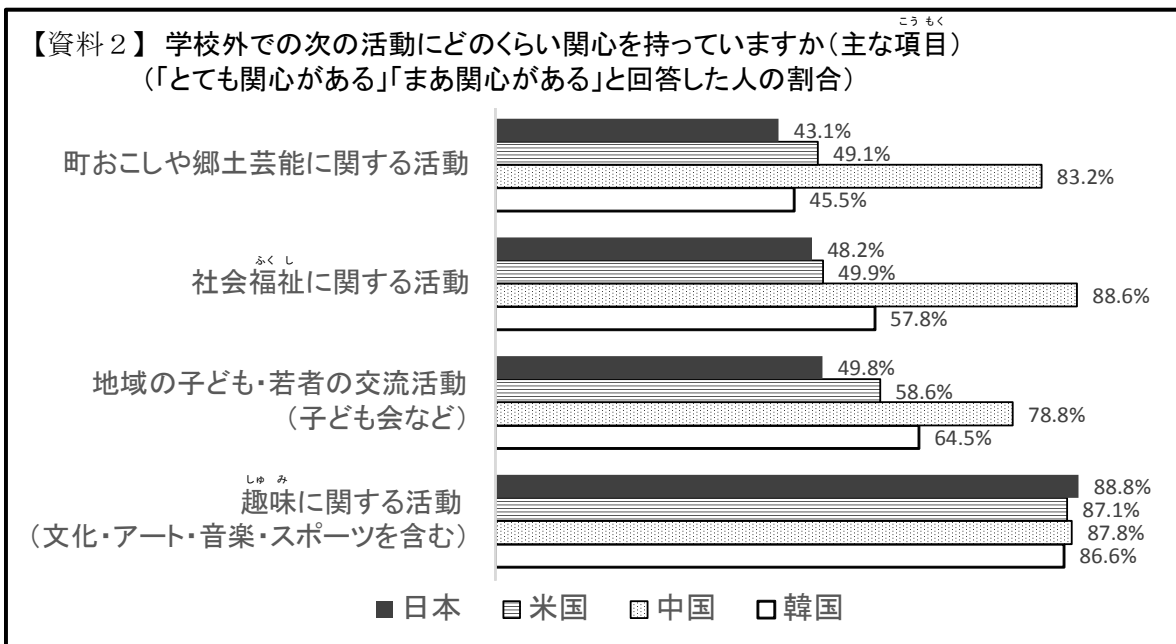
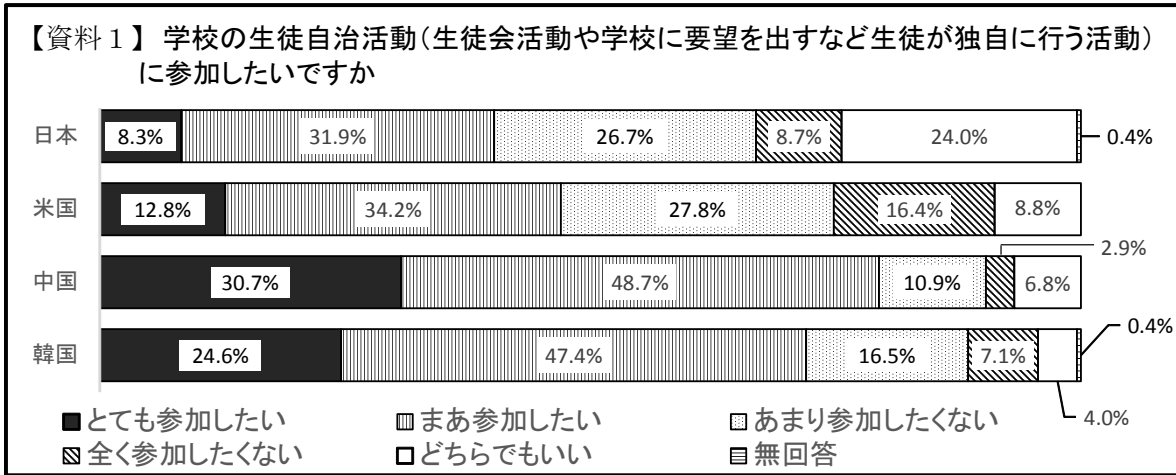
ア、では イ、しかし ウ、さらに エ、ただ

(七) 次のイルカの特徴について述べた文のうち、本文の内容として適当でないものはどれか。次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、陸上とまったく異なる海の中で水の抵抗を減らして素早く動くために、体型は流線形に変化した。
イ、体の骨格の基本要素は、陸の哺乳類と同じだが、それぞれの部位の骨の大きさや数は異なっている。
ウ、ヒレ状にした前肢や、尾ビレ、背ビレは、皮膚が変化したものであり、魚類と同じ構造である。
エ、速く泳ぐための推進力である尾ビレは、体に対して垂直につき、背腹の方向に振って遊泳する。

(八) 傍線部分(6)「この独特の泳ぎ方こそ、イルカの高速泳ぎの原動力となっている」とあるが、イルカが高速で泳ぐことができるのはなぜだと考えられているか。その理由を、「独特の泳ぎ方」とはどのような泳ぎ方なのかにふれて、「……からだと考えられている。」につながるように、本文中の言葉を使って、四十五字以上六十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

次の【資料1】、【資料2】、【資料3】は、国立青少年教育振興機構が日本、米国、中国、韓国の高校生に実施した「高校生の社会参加に関する意識調査（令和三年）」の結果をまとめたものである。これらを見て、あとの各問いに答えなさい。（十二点）



〔国立青少年教育振興機構「高校生の社会参加に関する意識調査（令和3年）」から作成〕

(一) 【資料1】、【資料2】から読み取れることについて、最も適当なものを次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、【資料1】について、「とても参加したい」と回答した人と「まあ参加したい」と回答した人の割合の合計は、四か国すべての国において五割を超えている。

イ、【資料1】について、「全く参加したくない」と回答した人の割合は中国が最も小さく、その他の三か国においても「全く参加したくない」と回答した人の割合は一割に満たない。

ウ、【資料2】について、「とても関心がある」「まあ関心がある」と回答した人の割合は、四か国のどの国においても「町おこしや郷土芸能に関する活動」が、他の三つの項目よりも小さくなっている。

エ、【資料2】について、「とても関心がある」「まあ関心がある」と回答した人の割合は、「趣味に関する活動」では、日本が四か国の中で最も大きく、他の三つの項目では、日本が四か国の中で最も小さくなっている。

(二) 【資料3】の「インターネットで次のことをどのくらいしていますか」のグラフを見て、日本の高校生と、日本以外の国の高校生を比較して読み取れることをもとに、あなたが考えることを、次の「作文の注意」にしたがって書きなさい。

〔作文の注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② 二段落構成で書き、第一段落には【資料3】のグラフを見て、日本の高校生と、日本以外の国の高校生を比較して読み取れること
を書き、第二段落には、第一段落で書いたことから、あなたが考えることを書きなさい。
- ③ あなたの考えが的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方にしたがって、全体を二百字以上二百四十字以内にまとめなさい。

— おわり —